

# 鉄鋼面

公共仕様No.  
DNT-新設・4-2-09

## 18章4節:合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) タイコーペイントフォスター

### 使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JIS K 5674 1種 鉛・クロムフリーさび止めペイント	グリーンボーセイ速乾	F☆☆☆☆	塗料用シンナー
2 JIS K 5516 1種 合成樹脂調合ペイント	タイコーペイントフォスター	F☆☆☆☆	塗料用シンナー

### 塗装仕様

表18.2.2 鉄鋼面の素地ごしらえ【C種】

工程	塗料その他	面の処理	備考
1 汚れ、付着物除去	—	スクレーパー、ワイヤブラシ等で除去	—
2 油類除去	—	溶剤ぶき	—
3 錆落とし	—	ディスクサンダー又はスクレーパー、ワイヤブラシ、研磨紙P120～220で除去	放置せず次の工程に移る。

(注) A種及びB種は製作工場で行うものとする。

表18.3.3 鉄鋼面錆止め塗料塗り【A種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準膜厚 ( $\mu\text{m}$ )	塗装間隔 (20°C)
						塗付け量 ( $\text{kg}/\text{m}^2/\text{回}$ )	
1 錆止め塗料塗り (下塗り1回目)	グリーンボーセイ 速乾	白 赤さび色 グレー タークグレー	—	0～5	刷毛	30	8時間以上 6ヶ月以内
				0～10	エアレススプレー	0.10	
2 研磨紙ざり	研磨紙P120～220						清掃後
3 錆止め塗料塗り (下塗り2回目)	グリーンボーセイ 速乾	白 赤さび色 グレー タークグレー	—	0～5	刷毛	30	8時間以上 6ヶ月以内
				0～10	エアレススプレー	0.10	

(注) 素地ごしらえの種別は、塗り工法その他の欄による。

表18.4.2 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗り【A種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 ( $\text{kg}/\text{m}^2/\text{回}$ )	塗装間隔 (20°C)
1 中塗り (1回目)	タイコーペイント フォスター	各色	—	5～10	刷毛 ローラー	0.09	12時間以上 1ヶ月以内
				5～15	スプレー		
2 研磨紙ざり	研磨紙P220～240						清掃後
3 中塗り (2回目)	タイコーペイント フォスター	各色	—	5～10	刷毛 ローラー	0.09	12時間以上 1ヶ月以内
				5～15	スプレー		
4 上塗り	タイコーペイント フォスター	各色	—	5～10	刷毛 ローラー	0.08	—
				5～15	スプレー		

(注) 錆止め塗料塗りの種別は、塗料その他の欄による。

### 18.2.3 鉄鋼面の素地ごしらえ

鉄鋼面の素地ごしらえは表18.2.2により、種別は特記による。特記がなければ、C種とする。

### 18.3.3 錆止め塗料塗り

(a)鉄鋼面錆止め塗料塗りは表18.3.3により、種別は特記による。特記がなければ、見え掛り部分はA種とし、見え隠れ部分はB種とする。

(b)鉄骨等鉄鋼面の錆止め塗料塗り工法は、次による。

(1)1回目の錆止め塗料塗りは、製作工場において組立後に行う。ただし、組立後塗装困難となる部分は、組立前に錆止め塗料を2回塗る。

(2)2回目の錆止め塗料塗りは、工事現場において建方及び接合完了後、汚れ及び付着物を除去して行う。

なお、塗装に先立ち、接合部の未塗装部分及び損傷部分は、汚れ、付着物、スパッター等を除去し補修塗りを行い、乾燥後、2回目を行う。

### 18.4.4 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗り

鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りは表18.4.2により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

### 注意事項

\* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。

そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

\* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。